

# 社会システム・サービス最適化のための サイバーフィジカルIT統合基盤の研究 サイバーフィジカルシステムによる 新たな価値創造に向けて

## 平成24年度研究報告会

### 開催趣旨

フィジカル世界(実社会)の様々な現象から膨大なデータをサイバー世界に収集して分析し、実社会にフィードバックすることで社会システムやサービスの最適化を図るためのサイバーフィジカルシステム(CPS)。社会システムの効率化のみならず、防災や環境保護など実世界の諸課題解決に貢献すると期待されています。

本プロジェクト「社会システム・サービス最適化のためのサイバーフィジカルIT統合基盤の研究」(【略称:CPS IIP(Integrated IT Platform)プロジェクト】)は、この分野の研究開発を国内でリードする国立情報学研究所、北海道大学、大阪大学、九州大学が連携して推進しています。

今回の報告会では、プロジェクト初年度として平成24年度の研究活動報告を行い、今後の研究の方向性を議論するとともに、基調講演において海外の研究動向についても紹介します。本プロジェクトは文部科学省から国家的課題対応型研究開発推進事業(次世代IT基盤構築のための研究開発)として、平成24年度から平成28年度の5年間で国内4機関が研究委託を受けたものです。

日時

2月22日 金

13:00~18:00 (受付開始 12:30)

場所

ベルサール神田2F ROOM1・2  
東京都千代田区神田美土代町7  
住友不動産神田ビル



### プログラム

基調講演「Harnessing the Power of Big Data for Science」  
Prof. Costantino Thanos  
(Institute of Information Science and Technologies  
(ISTI) of the Italian National Research Council(CNR))

### 平成24年度活動報告

国立情報学研究所 「サイバーフィジカル管理基盤」  
坂内 正夫 (国立情報学研究所長)

北海道大学  
「知識創成 HCPS スマート・フェデレーション統合環境」  
田中 譲 (北海道大学知識メディア・ラボラトリー長)

大阪大学  
「社会システム・サービスの最適化のためのマルチストリーム  
データ分析基盤技術」  
東野 輝夫 (大阪大学大学院情報科学研究科 教授)

九州大学  
「実社会を詳細広範囲に観測するパーベイシブ・センシング機構」  
谷口倫一郎 (九州大学大学院システム情報科学研究院 教授)

### パネルディスカッション

### ●参加申込(定員 150名)

Webサイトからお申込み下さい(参加費:無料)

<http://www.nii.ac.jp/event/workshops/cps2012>

### ●お問い合わせ先

国立情報学研究所  
サイバーフィジカル情報学国際研究センター  
cps-event-office@nii.ac.jp

NII 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構  
国立情報学研究所  
National Institute of Informatics

主催: 国立情報学研究所 共催: 北海道大学知識メディア・ラボラトリー、大阪大学、九州大学